

# 肱川

発行

肱川町企画調整室

電話肱川局 120

印刷 エヒメコープ印刷部

昭和49年4月末現在

|      |           |
|------|-----------|
| 世帯数  | 1,114戸    |
| 人口   | 2,088人    |
| 男    | 2,150人    |
| 女    | 4,238人    |
| 計    | (前月比11人減) |
| 転入   | 37人       |
| 転出   | 50人       |
| (出生) | 6人        |
| さや川  | 寺岡恵ちゃん    |
| の生川  | 岡田美晴ちゃん   |
| 下協保井 | 武坂本知恵ちゃん  |
| 大敷和  | 森上清美ちゃん   |
| (死亡) | 4人        |
| 森    | 兵頭繁太さん    |
| 肱汗大  | 栄生平さん     |
|      | 大亀岡本さん    |
|      | 久松さん      |

## 「よい環境とよい風習を」

### 子や孫に残すために」

肱川町においては、生活の基盤となる生活道路や電話、テレビ、自家用車の普及など、交通通信施設などは整備されてきたが、住居様式は、台所、便所など衛生施設が旧態のままのこり、飲料水は自然流水利用が多く、ごみ、し尿の処理をみても衛生的ではありません。

また、川や道ばたへごみが捨てられ、水はにぎりみんの財産である自然や公共施設などを大切にすることがやれず、失われようとしています。さらに、人と人との心のふれ合いや、いたわり、助け合う心など連帯意識がうすれ、さびつとした社会となっているようです。

このような人の心は、家庭や地域におけるきまりや習慣をおろそかにし、祖先が残してくれた尊い文化や財産まで忘れられることとなります。

衛生施設を改善し、快適で、こころ豊かな生活環境と、自然や、道路、河川、公共施設などを大切にすよい風習を自分達の子や孫に残すことが、私たちのつとめではないでしょうか。そのために、私たちは「いま、なにをすればよいか」を考えてみなければなりません。そこで、肱川町では、私たちみんなで参加し、みんなで考え、みんなで実践して「住みがいのある町」をつくるため、この運動を進めることになりました。

### 「自然を大切に」

## 生活環境をよくする町民運動

# よみがえる肱川のこころ

（春はなたねの花でいっぱい）



私たちが、安全で快適な生活を営むためには、文化的な住宅、交通通信施設などと自然とが調和のとれた環境が必要で、恵まれた緑と豊富な水は、私たちの「宝」でありこの野鳥とびかう自然環境を保護することは、私たちに果せられた大切なつとめです。

### 「公共施設を大切に」

公民館などの集会所は、



緑の自然の中にあきカンやボール箱がすてられています。

### 「道路を大切に」

私たちが苦勞してつくった生活道路は、自家用車の普及ばかりでなく、私たちの生活を助け、余暇を生んでいます。生活道路の利用はますます増加し、それだけ管理が必要で、道路は私たちの財産です。私たちひとりひとりの心がけで、安全で快適に利用できる道路にいたしましょう。

### 「いいいの広場をつくりましょう」

家族のどんらん、町民のいいいの場は、健康的な生活を営むために欠くことができません。

むかし、人々が集り「相撲」や「オコモリ」があったといわれる神社やお寺の広場は、各地で草木にたくれておぼろげにいます。

このような広場を活用して、緑の公園をつくり、子どもの遊び場として、また酒を酌み合い、歴史を語り心のふれ合う場とすることが大切です。ほのぼのとした、あたたかい人間関係はそんなところから生れてきます。

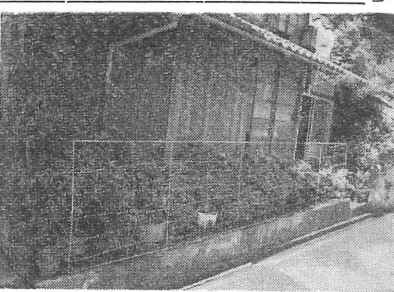
### 「心のかよったくらしを」

めざましい経済の成長と交通通信の発達、豊富な物資と余暇を産み、日常生活における人々の欲求は、物質的なものから、精神的なものへと変わってきています。

ということは、「心のかよった家庭」づくりに向けて、変ぼうする社会に对应できる能力を身につけるため「教育の充実」が求められていて、家庭生活の果す役割は大きいものがあります。

### 「愛情と信頼で結ばれた家庭環境」

家庭は、家族の健康を維持し、安らぎを与え、明日



「子どもは、親を写す鏡」といわれます。私たちは家庭の果す役割の大きさを知り、家庭生活の重要性を今一度考えてみる必要があるようです。

家庭生活におけるしつけや教育こそ、連帯意識を高め、「となりぐみ」をつくり、共通目標をもった地域社会を育て、こころ豊かな町をつくる原点といえます。

「子どもは、親を写す鏡」といわれます。私たちは家庭の果す役割の大きさを知り、家庭生活の重要性を今一度考えてみる必要があるようです。

家庭生活におけるしつけや教育こそ、連帯意識を高め、「となりぐみ」をつくり、共通目標をもった地域社会を育て、こころ豊かな町をつくる原点といえます。

家庭生活におけるしつけや教育こそ、連帯意識を高め、「となりぐみ」をつくり、共通目標をもった地域社会を育て、こころ豊かな町をつくる原点といえます。

家庭生活におけるしつけや教育こそ、連帯意識を高め、「となりぐみ」をつくり、共通目標をもった地域社会を育て、こころ豊かな町をつくる原点といえます。

家庭生活におけるしつけや教育こそ、連帯意識を高め、「となりぐみ」をつくり、共通目標をもった地域社会を育て、こころ豊かな町をつくる原点といえます。

家庭生活におけるしつけや教育こそ、連帯意識を高め、「となりぐみ」をつくり、共通目標をもった地域社会を育て、こころ豊かな町をつくる原点といえます。

家庭生活におけるしつけや教育こそ、連帯意識を高め、「となりぐみ」をつくり、共通目標をもった地域社会を育て、こころ豊かな町をつくる原点といえます。

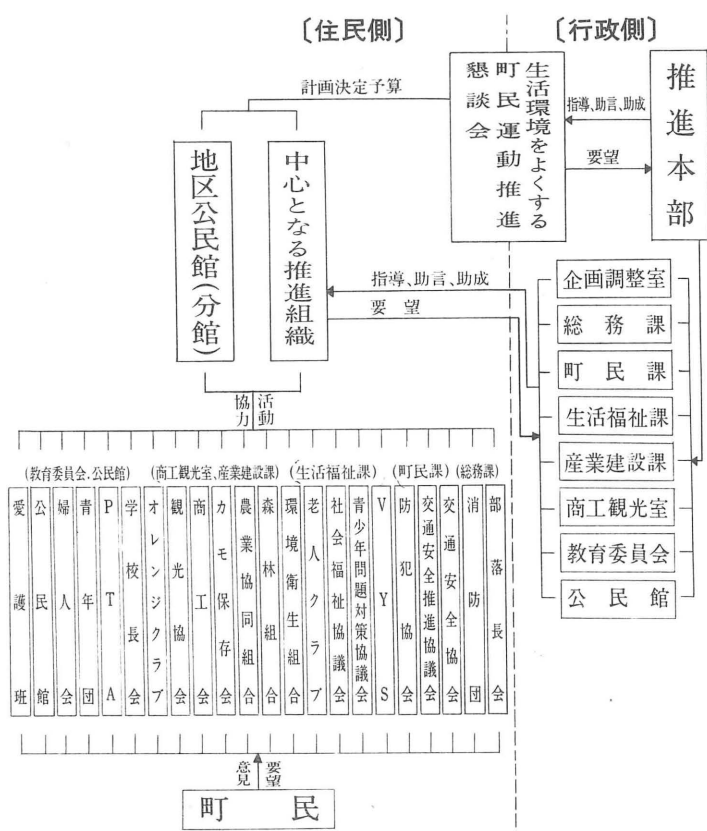
家庭生活におけるしつけや教育こそ、連帯意識を高め、「となりぐみ」をつくり、共通目標をもった地域社会を育て、こころ豊かな町をつくる原点といえます。

家庭生活におけるしつけや教育こそ、連帯意識を高め、「となりぐみ」をつくり、共通目標をもった地域社会を育て、こころ豊かな町をつくる原点といえます。

家庭生活におけるしつけや教育こそ、連帯意識を高め、「となりぐみ」をつくり、共通目標をもった地域社会を育て、こころ豊かな町をつくる原点といえます。

## 「推進懇談会」と「推進本部」を設置

生活環境をよくする町民を進めることになりました。運動は、公民館、婦人会、青年団など町内すべての組織機関、団体の協力、活動によって、みなさんの一動の「推進懇談会」が設けられ、皆さん一人一人の意見や、ご要望は、部落長さんや公民館の分館長さん、婦人会分会長さんなどあらゆる組織の代表者を通じて、この運動に反映できるように努めています。町民課において、各課課長補佐を組織し、町民課を窓口としてこの運動を進めます。この運動の推進組織を明示すると次のとおりです。



## 町の目録から

4月1日～15日

- 1日○人事異動○課長会○昭和49年度出発式
- 3日○選挙管理委員会○成人大学事後研修
- 4日○定例係長会
- 5日○議員協議会○農業委員会○生活環境をよくする町民運動説明会○成人大学○二次農構に関する農業法人事務研修
- 6日○展示広報委員会
- 8日○町内小学校入学式○犬の登録と注射
- 9日○中学校入学式○定時制入学式○歯を守る運動打合せ○不用大回収日
- 10日○団体会長会
- 12日○課長係長合同会○中野保育所入園式○春の大掃除
- 15日○課長補佐会○母子会総会○不燃物収集日○部落長研修旅行(南九州)





大きなトロフィに入賞者も思わず笑みがほころぶ

さすが名人“ジャンボ”続々  
へら釣り名人会

全国へら鮎釣大会が五月五日鹿野川湖で開かれました。全国から集まった参加者は一九四人、前日からの泊り込みの人、当日参加者の人たちが午前三時すぎから受付おそしとまちうけ、簡単な開会式、競技説明を受けたあと、午後三時の締め切りまで、日頃の腕を競いました。当日は、気温が少し低いので、水かさが釣り過ぎたためか、釣り上げた鮎の数は少なかつたようです。しかし、四〇疋以上の大物を釣り上げた人も三人あつた。文字どうり鹿野川湖の「ジャンボペラ」に参加者はおどろいていました。

|    |     |      |
|----|-----|------|
| 一位 | 高槻市 | 西村一大 |
| 二位 | 豊中市 | 杉原武弘 |
| 三位 | 茨中市 | 藤井秀和 |
| 四位 | 徳島市 | 村上茂男 |
| 五位 | 伊丹市 | 木田順二 |
| 六位 | 徳島市 | 大和成就 |
| 七位 | 高松市 | 松崎健一 |
| 八位 | 川西市 | 山内義仁 |
| 九位 | 鳥栖市 | 原時義勝 |
| 十位 | 大阪市 | 土井勝  |

## 5月は運動期間

日本赤十字社では、世界中一七か国と手をとりあつて、災害救助や福祉保健など幅広い活動を行なっております。

このような活動はすべて人間愛に燃える社員の方々が納められる社費と一般募金によつてまかなわれています。未加入の家庭にあつてはできるだけ加入いただきますよう、また募金についても各部落そろつてご協力をお願いいたします。

くわしくは部落長さんにお願ひしております。

二級障害者にも  
福祉年金が支給されます

障害福祉年金は、国民年金に加入していた間に病氣やけがをして障害者になった人が、加入期間が短かいために障害年金が受けられないとき、または二十才になる前に病氣やけがをしたために、すでに障害者になっているときなどに支給されます。

この障害福祉年金はいままでは一級障害者に限られていましたが、四月一日から、比較的軽い二級の障害者にも、支給されることになりました。

支給される年金の額は六万円（月額五千円）です。

いま、年金が二十才から六九才までの人で以前から二級障害に該当していた人も、厚生年金等ほかの年金を受けていなければ、四月一日から支給を受けることができます。

## 環境をよくする運動懇談会開く

生活環境をよくする町民運動の第一回目の推進懇談会を五月一日町公民館において開催しました。

懇談会には、公民館分館長、婦人会分会長など町内あらゆる組織団体の代表者約三〇人と町の推進本部一〇人が出席して懇談が行なわれました。

懇談に先立ち町長からこの運動の発想の動機について、「経済の高度成長により、生活物資に恵まれてきた推進本部長（助役）から、この運動の趣旨と基本方針について、

○この運動は、全町民が推進母体であり、行政のうえでは、側面的に助成するものであること。

○新しい組織をつくらず、既存の自主的な組織の活動を通して、実践してゆくものであること。

○新しい事業を行なうのではなく、従来行なってきた事業の中で、産業の振興とあいまって、この運動を重点的にとりあげた方針であることなど説明して、町民課から本年度の実施計画について説明のうえ懇談にはいりました。

懇談の中では、「空屋となくなった家の庭は、雑草が茂り、衛生害虫の発生源ともなっているが対策はないか。」「ごみは、各家庭の責任で処理すべきだが、小川へごみが捨てられている。」「路上への不法駐車、指導強化を」、など、活発に意見が交換され、貴重な意見や要望が多くなりました。推進本部では、このような意見や要望について、具体的な方策について検討して実践活動をすすめることにしています。

今後、この運動をすすめるうえで、町民みなさん、一人一人の意見や要望をこの運動に生かすため、みなさんと推進組織をつなぐパイプ役として、この懇談会を開くことにしています。

歯の健康を守りましょう

このような情勢にかんがみ、「豊かで住みよい町」づくりのため、地域の環境づくりを積極的にする必要がある。

このため、全町民の参加を得て、生活環境をよくする町民運動の実践活動を進めたい」とあいさつがあり

町政懇談会ひらく

町は、積極的な対話により、お互いの理解と心のつながりをもち町行政に住民の意見を反映させることを目的に、五月上旬、町内五地区で懇談会を開きました。

人権意識を高め、明るい町に

肱川町をモデル地区に指定

当町は本年度の人権モデル地区として県人権擁護委員連合会および松山地方事務局から指定をうけました。

たち一人一人が、人権とは何か、人権尊重とはどういうことを日常生活の中で今一度考えてみる必要です。

機会に、「明るく住みよい町」づくりのため、町民の一人一人が日常生活の中で人権意識を高めていくよう心がけましょう。

歯をみがきましょう

六月四日～十日

歯の衛生週間

**お知らせ**

○開眼運動巡回診  
査

県では、視覚障  
害者の福祉のため  
開眼運動巡回診査  
と一日盲人福祉セ  
ンターを実施しま

す。  
とき 六月二十五日(火)  
九時〜十五時  
大洲市民会館  
ところ 日赤 幸塚部長  
医師  
○児童手当の払込み

児童手当は六月七日に農協（各事業部）の口座へ払込みます。受給資格者は確認ください。

○母親学級  
と き 六月二十一日  
十三時—十五時  
ところ 公民館  
内容 診察、各種検査、  
赤ちゃんの沐浴の  
しかた

○乳幼児検診  
対象 昭和四十八年中の  
出生者

| 乳幼児検診日時と場所 |             |        |
|------------|-------------|--------|
| 月 日        | 時 刻         | 場 所    |
| 6月10日      | 13:30~14:30 | 正山小学校  |
| 6月13日      | 13:30~14:30 | 肱川町公民館 |
| 6月14日      | 13:30~14:30 | 大谷小学校  |

○肺ガンも判断できます

——結核レントゲン——

結核レントゲンは、十五歳以上の人は、毎年受けなければなりません。

今年から大沖保便所に  
○このカメラが入りまし  
たが、このカメラは、X線  
の照射が少ないだけでなく  
肺ガンの発生までも写るよ  
う機械です。一人残らず受  
けてください。

(日皇は四月広報参照)